

事業所名	療育特化型事業所ディアース1st子安店
------	---------------------

公表日 年 月 日

利用児童数 年 月 日 回収数

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	41	3	0	0	・運動スペースが広くとられている。 ・基本的には十分ですが参加者が多いときに若干混み合うことがあると感じる。 ・十分な場所を確保いただき適切な人数で対応している。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	43	1	0	0	・逆に1人1人ついていてびっくりしました。 ・参加する子どもに対して適切な人数で	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	40	3	1	0	・荷物やくつの棚が分かりやすい ・みえる所に物が点在しているかと思いますが、スペース確保のためには仕方な	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	44	0	0	0	・トイレに手洗い場があると嬉しいです。 ・キレイだと思います。 ・こどもたちが楽しく活動できるように工夫していただいている。	
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	41	2	1	0	・面談で具体的な話をしてくださり、ありがたいです。 ・子の特性をよく見てくださり信頼して	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	41	3	0	0	・十分にあってはいる。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	43	1	0	0	・理解してもらい、分かりやすく説明い	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	43	1	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	42	2	0	0	・計画に沿って行っている。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	43	1	0	0	・一度やって上手くできなかったプログラ	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	19	8	6	11	・保育園への迎えにきたり、様子をみにきて頂いていますが、交流とよめるかはわかりません。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	41	3	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	43	1	0	0	・十分な説明をしていただいている。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	22	10	4	8	・もし活動があるなら知りたいです。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	41	3	0	0	・大変助かっています。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	43	1	0	0	・定期的には分からない。 ・大変助かっています。 ・定期的に面談をしてもらい、目標がわ	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	42	2	0	0	・ほめてくださり、ありがたいです。 ・大変助かっています。 ・常に寄り添って支援していただい	
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	13	4	17	・待ち時間で、他事業所より交流できています。 ・特に求めています。 ・保護者が見学する部屋があるので、機会を設けてもらわなくても他の保護者の		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	39	3	0	2	・LINEや直接でも言いやすい雰囲気あります。 ・相談すると次の利用日までに事業所内で話し合っ回答して下さるのが嬉しいです。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	44	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	29	8	0	7		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	41	1	1	1	・配慮されていると思いますが、出欠表が全員分置いてあるので、他の方の名前を知ってしまう時がある。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	40	2	0	2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	39	2	0	3	・定期的に訓練が行われている。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	42	1	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	38	4	1	1	・発生したことがないので不明。 ・先生ごとに状況の説明が違っていたことがあった。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	44	0	0	0	・サーキットなど楽しんでいます。 ・安心感があるので、通えていると思います！	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	41	3	0	0	・毎週楽しみにしています。 ・とても楽しみにしています。 ・ディーズに行く曜日をいつも楽しみ	
	29	事業所の支援に満足していますか。	42	2	0	0	・具体的な話をして頂けてありがたいなと思っています。 ・子のペースに寄り添った支援をしてく	

事業所名	療育特化型事業所ディアーズ1st子安店
------	---------------------

公表日 年 月 日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12	0	・他施設を知らないので比較できませんが、スペース（療育）は恵まれていると思います。 ・個別×3人はせまい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12	0	・基本的に適切だと思っています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	3	・一部分かりにくい箇所がある。例えばトイレなど一目で分かりにくい。 ・収納スペースや収納箇所が構造化されていない。療育外業務のスペースが不十分で作業効率下が原因となっています。 ・療育室内に治具遊具を置く際の間切りカーテンなどが合った方が良い子が多い。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	1	・遊具、床の手入れ（衛生面）が不十分です。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	2	・子ども用の個室がありません。 ・クールダウンスペース、集中しやすい個別学習室など言い出せばきりがなが、現状はパーテーションのみ。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10	2	・非常勤は気づいた点を口頭で伝えるレベル。参画とは言えないと思います。 ・全こども分の振り返りを実施している。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	0	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	3	・非公式ですが、把握しようと努力していることは伝わります。 ・職員事務室の天井照明については30分程して2本目がつき、3本目につくことはない状況である。暗い中での見えにくさがあり、業務遂行のストレスとなっているので改善を望みます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	0	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12	0	・研修予告をもう少し早くしていただくと参加しやすくなります。 ・研修は開催されていますが、参加人数は少なくほぼ同じ顔ぶれなので、療育後に勤務扱いで実施するなど工夫が必要だと思います。 ・症例検討会議を増やして欲しい。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12	0	・再評価表を提出後、長期・短期の目標が設定された用紙が担当者に戻ってこない（戻るのが
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	12	0	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12	0	・計画書面談後の内容を担当者へ詳しく共有して欲しい。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12	0	・支援会議の結果を全職員が確認する仕組みあり。 ・計画書面談後の内容を担当者へ詳しく共有して欲しい。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	1	・一度取り組んだシートがあったが、現在は使われていない。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12	0	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	3	・リーダーが中心となり、各こどもの担当職員の意見も踏まえたプログラム立案をしている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12	0	・こどもの課題に応じてプログラムの変化あり。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	12	0	・原則として行われている（空き枠の有無に左右されることもある）。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	2		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	1	・定期的なモニタリングとは？（いいえに回答）	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	1	・状況が判断できない項目のため「いいえ」に回答。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	0	0		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。	0	0		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	0	0		
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	10	2	・状況が判断できない項目のため「いいえ」に回答。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	9	・設定がないと思われる。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	0		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	2		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	1	・状況が判断できない項目のため「いいえ」に回答。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12	0			
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	12	0			
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11	1			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	11	・保護者会等は設定されていないが、集団療育時に自発的に保護者同士の交流が行われていることがある。 ・状況が判断できない項目のため「いいえ」に回答。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12	0	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	11	1	・状況が判断できない項目のため「いいえ」に回答。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	3	・スタッフルームで保護者面談がある時にも個人ファイルが乱雑に置かれていたりするのは気になります。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12	0	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	11	1	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	2	・嘔吐物や失禁時の処理用品セットがあるといいです（ありますか？）。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	1	・避難訓練の実施。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	11	1	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	0	0	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	2	・状況が判断できない項目のため「いいえ」に回答。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	2	・状況が判断できない項目のため「いいえ」に回答。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12	0	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	1	・資料は読みましたが、十分ではないと思います。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10	2		

○事業所名	療育特化型事業所ディアーズ1st子安店		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2026年 3月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44	(回答者数) 44
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2026年 3月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 4月 15日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	安心・清潔な環境と活動しやすい空間整備が高く評価されている	日々の清掃・整理整頓、動線配慮、活動内容に応じた環境設定を継続している。	定期的に物品や配置の見直しをしていく
2	子ども理解に基づく専門的支援と個別支援計画への満足度が高い	丁寧なアセスメント、保護者ニーズ確認、多職種連携により具体的な計画作成を行っている。	勉強会の機会を増やし専門性の向上を図る
3	保護者との情報共有・相談対応が丁寧で、通所満足度が高い	日々のフィードバック、面談、迅速な相談対応、共感的な関わりを意識している。	質の良いサービスが継続できるよう心掛けていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流・保護者同士の交流機会が少なく、取組の見える化にも課題がある	事業形態上機会設定が限定的。交流イベントや情報発信の頻度・周知方法の見直しが必要。	地域にむけて実施している発達相談会の周知強化。 地域の療育者向け勉強会の実施
2	個人情報管理や書類・物品整理など運営面で一部改善意見がある	保管場所や閲覧環境、整理ルールの再確認と定期点検を進める必要がある。	実績記録票等の取扱い担当者を決め管理する
3	非常時対応・安全計画・研修内容について職員周知にばらつきがある	訓練や研修は実施しているが共有不足。実施記録、周知、実践訓練を強化していく。	非常勤スタッフは参加が難しいことがあるので周知徹底していく